



•Tackle Guide
テンピンタチウオの竿はおおむね8：2～7：3調子が適しており、特徴として8：2調子は細かい誘いをしやすい、7：3調子は食い込みのよさがあげられる。仕掛けはハリス全長1.8～2.5メートルの1本バリエーションで、活性が高いときは長め、活性が低いときは短め、活性が低いときは長めと考える。市販品はハリスをかみ切れないようにチューブが装着されているものが多いが、活性が高いときは外してよりシンプルにするほうがヒット率が上がる場合もある。オモリは40～80号まで用意しておこう。



▲ビギナーからベテランまで人気がある

太若船長の手取り足取りのレクチャーのかいあってタチウオをゲットして満面の笑み。しかし、その後は翔太若船長だけはポツポツながらコンスタントにヒットさせるものの、ほかの人は大苦戦。「左ミヨシの岡部さんが「どうしたらいいでしょうかねえ？」と私に尋ねてきたので、「活性があまり高くないのでシャクリ幅を小さくしてポイントの時間を長めにしてみてもいいかですか」とアドバイスすると、岡部さんは連チャンでタチウオをゲット。「記者さんのアドバイスのおかげです」と感謝の言葉をくれた。それを写真に収めていると、「おどかしいのが上がったぞお」と声が上がった。振り向くと左舷トモの鳥居さんが12センチのドラゴンサイズを釣り上げていた。鳥居さんは唯一テンヤ仕掛け



▲東京湾のタチウオは今後も期待十分

ライトタックルの普及に伴って人気となった釣りはいくつかあるが、その筆頭はタチウオではないだろうか。タチウオ釣りは一日中竿を手に持って誘いを繰り返す釣りだけに、タックルが軽量でオモリが軽いことが何よりも重要な要素だ。またタチウオ人気は沸騰した理由としてルアー、テンピン、テンヤと釣り方が3種類あり、幅広いファン層を獲得

難しいから夢中になれる！ 東京湾の一番人気タチウオ

◎東京湾奥金沢漁港↓走水沖

本誌ABC(東京)鈴木良和 Yoshikazu Suzuki

できたこともあるだろう。もちろん、ハリ掛かりしてからの激しい引き味や食味のよさも忘れてはならない理由の一つとなっている。

ドラゴンサイズが上がる

10月7日に釣友と東京湾奥金沢漁港の蒲谷丸に出かけた。東京湾のタチウオは今やほぼ周年の釣り物となっているが、蒲谷丸では6月から1月

▼タチウオは難しいから面白い



までタチウオ釣りで出船している。当日はタチウオの仕立と乗合の2隻出しとなっており、私たちの乗合船は乗船者が8名とのこと。受付を済ませて船で準備をしていると蒲谷政徳船長がタチウオ釣りの基本をマイクで伝えてくれた。「一番下のタナを言いますからそこから10メートル上まで探ってください。リールのハンドルを半回転したらピツとシャクリるイメージで上へ上へと誘い続けてください。コツと重みを感じてから竿を立てて合わせてね。これが基本だけじゃなく、方色をいろいろ試してヒットパターンを見つけてください。この釣りはエサ付けが釣果を大きく左右するから落とすときにエサがクルクル回るようになら回収して付け直すように」とレクチャーが終わったところで7時半に出船。7時50分に猿島沖に到着すると、「水深は63メートル。55メートルから上を狙って」と開始の合図が出された。しかしタチウオの反応はあるものの食いが合わないのか船内ノーマットのため8時を回ったところで走水沖へ移動。ここでは大船団が形成されており、場所選びで旋回していたのだがまだどの船もタチウオを抜き上げる姿は見かけなかった。そして潮回りを済ませたところで「50メートルから上」と合図が出される。だがひと流し目はだれにもアタリがこなかったことから再び潮回りをしたところで、「きたよ、きましたよ」と竿を曲げたのは釣友の堀君。「あれっ、バレたかな？」と言う彼に「食い上げているからガンガン巻いて」と声をかける。タチウオは食い上げること

反応はあるけれど...

蒲谷政徳船長が「写真もその辺にして鈴木さんもおかずに釣りをささいよお」と言ってくれたので10時を回ったところで私も釣りに参加。すると投入1投目で早くも指示ダナの下限から3メートルほど誘い上げたところでコツとアタリが出た。その場でクイッククイックと誘うとグツと竿に重みが増えたので合わせを入ると見事にハリ掛かりして激しく突っ込む。教科書どおりに掛けられた喜びとタチウオの引きを楽しむながら85センチのタチウオ

を抜き上げた。その次はコツときた後にフワフワと食い上げるように糸フケが出たので急いでリールを巻いて合わせを入れるとガツンとした手応えが伝わってきた。この調子でガンガンいきたくところだったが、次第に活性が落ちてきてしまし、頻りにアタリはあるものの食い込みに至らない。それもほとんどが一度きりのアタリで、回収してエサをチェックしてもかみキズを見つけないのが難しいほどだ。「反応はあるけどなあ」と政徳船長もお手上げ状態。原因は水温低下と思われる。確かに1週間前までは半袖とデッキシューズ姿で釣りをしていたのに今日は皆さんウェアを着込んでいるほど冷え込んでいる。

もあって、その際に道糸をあの鋭い歯で切ってしまうことがあるので要注意だ。彼が80センチほどのタチウオを取り込んだのを合図に各所でバタバタと同サイズのタチウオがヒットしてきた。左舷胸の間の須藤藍子さんも翔

陸でもこの調子なのだから急激な水温低下は魚にとって大事件なのだろう。それでもあの手この手で私が6本目を釣り上げたところで沖揚がりとなった。この日の釣果は60×12センチのタチウオが0×8本と低調に終わったものの、タチウオの反応はあるので水温が安定すれば再び釣果ものびることだろう。駆け引きが楽しいタチウオ釣り、ぜひ出かけていただきたい。

ら回収して付け直すように」とレクチャーが終わったところで7時半に出船。7時50分に猿島沖に到着すると、「水深は63メートル。55メートルから上を狙って」と開始の合図が出された。しかしタチウオの反応はあるものの食いが合わないのか船内ノーマットのため8時を回ったところで走水沖へ移動。ここでは大船団が形成されており、場所選びで旋回していたのだがまだどの船もタチウオを抜き上げる姿は見かけなかった。そして潮回りを済ませたところで「50メートルから上」と合図が出される。だがひと流し目はだれにもアタリがこなかったことから再び潮回りをしたところで、「きたよ、きましたよ」と竿を曲げたのは釣友の堀君。「あれっ、バレたかな？」と言う彼に「食い上げているからガンガン巻いて」と声をかける。タチウオは食い上げること

から回収して付け直すように」とレクチャーが終わったところで7時半に出船。7時50分に猿島沖に到着すると、「水深は63メートル。55メートルから上を狙って」と開始の合図が出された。しかしタチウオの反応はあるものの食いが合わないのか船内ノーマットのため8時を回ったところで走水沖へ移動。ここでは大船団が形成されており、場所選びで旋回していたのだがまだどの船もタチウオを抜き上げる姿は見かけなかった。そして潮回りを済ませたところで「50メートルから上」と合図が出される。だがひと流し目はだれにもアタリがこなかったことから再び潮回りをしたところで、「きたよ、きましたよ」と竿を曲げたのは釣友の堀君。「あれっ、バレたかな？」と言う彼に「食い上げているからガンガン巻いて」と声をかける。タチウオは食い上げること

ら回収して付け直すように」とレクチャーが終わったところで7時半に出船。7時50分に猿島沖に到着すると、「水深は63メートル。55メートルから上を狙って」と開始の合図が出された。しかしタチウオの反応はあるものの食いが合わないのか船内ノーマットのため8時を回ったところで走水沖へ移動。ここでは大船団が形成されており、場所選びで旋回していたのだがまだどの船もタチウオを抜き上げる姿は見かけなかった。そして潮回りを済ませたところで「50メートルから上」と合図が出される。だがひと流し目はだれにもアタリがこなかったことから再び潮回りをしたところで、「きたよ、きましたよ」と竿を曲げたのは釣友の堀君。「あれっ、バレたかな？」と言う彼に「食い上げているからガンガン巻いて」と声をかける。タチウオは食い上げること

●船宿information
東京湾奥金沢漁港
蒲谷丸
☎045-781-8552
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=ショートタチウオ乗合一人9000円(エサ、氷付き)
▶備考=出船7時半。ほかライトアジにも出船



蒲谷 政徳船長

陸でもこの調子なのだから急激な水温低下は魚にとって大事件なのだろう。それでもあの手この手で私が6本目を釣り上げたところで沖揚がりとなった。この日の釣果は60×12センチのタチウオが0×8本と低調に終わったものの、タチウオの反応はあるので水温が安定すれば再び釣果ものびることだろう。駆け引きが楽しいタチウオ釣り、ぜひ出かけていただきたい。



▶このサイズが1本釣れば納得

もあって、その際に道糸をあの鋭い歯で切ってしまうことがあるので要注意だ。彼が80センチほどのタチウオを取り込んだのを合図に各所でバタバタと同サイズのタチウオがヒットしてきた。左舷胸の間の須藤藍子さんも翔



▲この日は走水沖を中心に狙った

知得! Tips and Tricks
外れないエサ付け

テンピン仕掛けのエサ付けは腹側の身の部分へ皮側からハリを通したら向きを変えて皮から身に押し、再び向きを変え身から皮側に刺したらエサの端部をコキ上げてハリのケンに掛けるのが基本。しかしケンの部分を外れやすくエサの上部がずれることがある。解消法は最初にハリを刺す場所を身と皮の中央から刺して皮の部分に抜き、後は同じように縫い刺してコキ上げるとケンは身の中に全部収まるのでずれることがない。

◀エサの付け方が一番重要